

2010 年末～2011 年始における山の気象の記録

2011 年 3 月 (社) 東京都山岳連盟気象委員会

東京都山岳連盟に加盟している団体の協力により、各登山パーティから 11 件の 2010 年末～2011 年始における山の気象データを収集した。そのデータをまとめた資料を作成したので、気象遭難事故防止や冬山気象の研究に活用していただきたい。

今冬の始めは東北地方から西日本にかけての日本海側では豪雪に見舞われ、立山室堂や大山（鳥取県）のスキー場などで雪崩の遭難事故が発生したが、その他は規模の小さな遭難事故が発生したものの大きな遭難事故はなかった。しかも登山中における荒天による遭難事故は幸いにも皆無の状況にあった。

次に各登山パーティからの報告に基づく気象データにより、各日ごとの山の天気状況を地上天気図及び高層天気図等を参照しながらみていく。

12 月 26 日

日本付近の気圧配置は樺太方面に発達した低気圧があつて冬型となっており、天気分布も典型的な冬型となっているが、本州の上空には強風帯があるため冬型の気圧配置で晴天となる太平洋側の山域でも、このような時には稜線上は西よりの強風が吹きつけ一時的に風雪の天気となることがある。南ア北岳の池山吊り尾根においても森林限界上部から稜線にかけては風雪の天気となっている。

12 月 27 日

上層の弱い気圧の谷が日本付近を通過し、このため地上天気図は冬型がやや弱まって等圧線の間隔も広がっている。このため上層の強風も幾分弱まる傾向にあつて、各山域共 26 日より良い傾向にあるが、依然日本海側に当たる山域は風雪の天気となっている模様（実測データの報告はなし）

12 月 28 日

冬型の気圧配置が弱まって日本海西部には低気圧が現れた。この低気圧の後面の上空には上層の気圧の谷があつて日本付近では暖気が流入し、富士山の気温も 12 月下旬後半から上がり始め -14°C 位となり、ピークとなった。このため各地の山域は日ごとに風雪が弱まって、高い稜線や山頂のみが雪雲に覆われている。しかし、上空の風は相変わらず強風帯があつて強い。

12 月 29 日

日本海にあった低気圧は三陸沖へと去り、日本付近は一時的に冬型の気圧配置となった。このため天気分布は冬型となり、中部山岳では八ヶ岳付近まで雪が降ったが、南アの甲斐駒ヶ岳では晴れて時々雪雲がかかる程度であった。

12 月 30 日

弱い低気圧が日本海と西日本の南に現れ気圧配置は 2 つ玉低気圧型となる。このため日本付近の強い季節風は弱まり、北アの霞沢岳付近では風雪の天気であったが、その他の山域では曇天で時々雪の降る程度の天気であった。一方、朝日連峰方面では午前中は晴天となり、一時的には快晴ともなった。しかし、午後は次第に風が出てきて、天気も次第に風雪となる。午前中の晴天は東の間の晴天と言って、ことによると「疑似晴天」の可能性もあり、要注意の現象とも考えられる。冬季、2 つ玉低気圧や日本海低気圧が接近すると、日本海側の山域では風雪の天気から、一時的に晴れや晴れ間が出る天気となり長時間は続かないため、この「疑似晴天」には充分警戒しなければならない。

12 月 31 日

30 日の 2 つ玉低気圧は日本の東海上と日本海に残っており、まだ完全な冬型の気圧配置にはなっていない。このため朝日連峰方面は曇天で時々雪の降る天気であるが、北アや南アにかけての広い山域では晴天となる。しかし、この晴天の中、鳥取県の大山スキー場ではパトロール隊員 4 名が雪崩に会い死亡。尚、日本の上空には寒気が流入してきており、1 日以降は冬型の気圧配置が強まる見込みであるが、上空の強風帯が日本の南へと南下しているため、風は今までよりも弱めとなる。

1 月 1 日～2 日

1 日～2 日にかけての日本付近は西高東低型の冬型気圧配置となり、天気分布も典型的な冬型となって太平洋側の山域は晴天、日本海側の山域は風雪の天気となったが、風は上空の強風帯の南下によってさほど強くない。なお、中アの空木岳では曇りで薄日が射し、山頂付近はガスがかかっていたとの報告があった。

1 月 3 日

日本付近の冬型気圧配置は弱まって等圧線の間隔も広がり、一方、日本の南海上に低気圧も発生している。このため北海道方面では雪になっているが、東日本から西日本にかけての広い山域は風雪の天気もおさまり、中部山岳も晴天となったところが多くなった。 [文責 城所 邦夫]

2010 年末～2011 年始の山の気象データ

北アルプス 霞沢岳

(東京都山岳連盟所属 昭如山岳会)

月 日	場 所	気象データ
12月28日	中の湯～砂防事務所 (BC)	尾根上部はゴーゴーと音がしておりかなり風が吹いているようである。 夜半は20～30cmの降雪。
12月29日	(BC) ～1900m地点 (幕営)	出発後いきなりの新雪ラッセルがはじまる。 12 時頃約 1900m地点では、小雪が舞っている。
12月30日	幕営と地～2300m地点 (下降開始) ～BC	風、雪共に横なぐりで久し振りの雪山気分。 夜間に多少の降雪あり。
12月31日	BC～下山	5:30 頃 快晴ではないが、空は晴。

北アルプス 燕岳

(一般 講習会受講生)

月 日	場 所	気象データ
1月2日	中房温泉付近	中房温泉付近 1400m 16:30 曇り -6℃ 微風 1日の天気変化 風は無く燕岳登山口付近で微風あり。
1月3日	燕岳山頂	燕岳山頂 2762m 14:00 晴れ -15℃ 西微風 1日の天気変化 午前中晴れ、午後時々曇り、山頂付近ガスにより視界不良となる。
1月4日	燕山荘付近	燕山荘付近 m 6:00 曇り -26℃ 西微風 1日の天気変化 山域は全体的に曇り、下山中、時折晴れ間見える。 中房温泉から南側晴れ天気良い

中央アルプス 空木岳

(東京都山岳連盟所属 童人トマの風)

月 日	場 所	気象データ
12月31日	～池山避難小屋 (幕営)	よく踏まれた登山道に行く。
1月1日	幕営地～大地獄～空木岳山頂往復	夜空に星が見える。 1日の天気変化 薄日が射す程度で寒波は感じられず。 森林限界を越えるとガスに包まれた山頂が見える。 ガスの中、山頂に到着。
1月2日	幕営地～下山	

中央アルプス 経ヶ岳 (東京都山岳連盟所属 アルプス灯会)

月 日	場 所	気象データ
12月26日	経ヶ岳	経ヶ岳付近 2200m 9:40 地吹雪 -14℃ 南西強風 1日の天気変化 下山したら晴れていた。 特記事項：新雪が積もったばかり。多いところで1mはあるが股、腰までもぐる。

南アルプス 池山吊尾根 (東京都山岳連盟所属 山岳同人絆)

月 日	場 所	気象データ
12月26日	～池山避難小屋(幕営)	八本歯の頭 2900m 10:30 雪 北西強風 15～20m 1日の天気変化 森林限界上は吹雪。静岡県側は時々晴。 北岳の稜線は終日吹雪状態、雪面も完全にはクラストしていなかった。

南アルプス 甲斐駒ヶ岳・黒戸尾根八合目 (東京都山岳連盟所属 四季山岳会)

月 日	場 所	気象データ
12月29日	竹宇神社～笹平～五合目～七丈小屋	晴時々ガス 七丈小屋内の温度計 18℃
12月30日	七丈小屋～森林限界～八合目～七丈小屋	曇りのち雪 小屋から少し登るとラッセル開始、次第に胸までとなる。 八合目辺りは風強く悪天で、風雪のため下山開始。

東北 朝日連峰 石見堂岳～赤見堂岳～大桧原山 (東京都山岳連盟所属 童人トマの風)

月 日	場 所	気象データ
12月29日	砂沢橋(月山湖そば)～石見堂岳手前(幕営)	ここ一週間で積もったと思われる雪をラッセルしながら進む。 一日の天気変化 気温は高い。石見堂岳手前から急に風が強くなる。
12月30日	幕営地～石見堂岳～赤見堂岳～大桧原山～紫ナデ～1240m地点(幕営)	一日の天気変化 予想より天気が良い。青空の下快調に赤見堂岳へ向かう。赤見堂岳山頂は快晴。 前夜ラジオで聞いた天気予報は余りにも悪い。昼前から次第に風が出てきて、枯松山の先あたりからは、雪が降り出した。視界が悪くなり、風雪とガスが一層強まる。
12月31日	幕営地～大井沢	一日の天気変化 夜半にテントを激しく風が揺らすも起きる頃には、静かになった。天気予報は最悪なので、縦走は断念し下降する。 膝までもぐる深雪の中、スノーシューに切り替える。標高も低くなり風も無く、林道では薄日も射してきた。

八ヶ岳 阿弥陀岳北西稜

(東京都山岳連盟所属 立川山岳会)

月 日	場 所	気象データ
1月2日	美濃戸口～行者小屋幕営地	年末から年明けにかけて荒れ狂った日本海低気圧も2日午後から落ちつき、八ヶ岳周辺は風もなく穏やかな情景。
1月3日	幕営地～露岩～1岩壁～第2岩壁～頂上	阿弥陀岳北西稜の取り付き地点には踏み跡はなく、膝から腰下までのラッセルに奮闘する。 露岩に到着、ここからは八ヶ岳山麓が一望でき、感激である。

北八ヶ岳 東天狗岳

(東京都山岳連盟所属 四季山岳会)

月 日	場 所	気象データ
12月30日	渋の湯～黒百合平幕営地	曇り時々晴 前日降った新雪が大変綺麗である。
12月31日	幕営地～東天狗岳～黒百合平～渋の湯	晴 風は強かったが、良い天気に恵まれ、絶景の雪山を堪能した。

上州 赤城山 (鈴ヶ岳・地藏岳)

(東京都山岳連盟所属 日本ハイキング倶楽部)

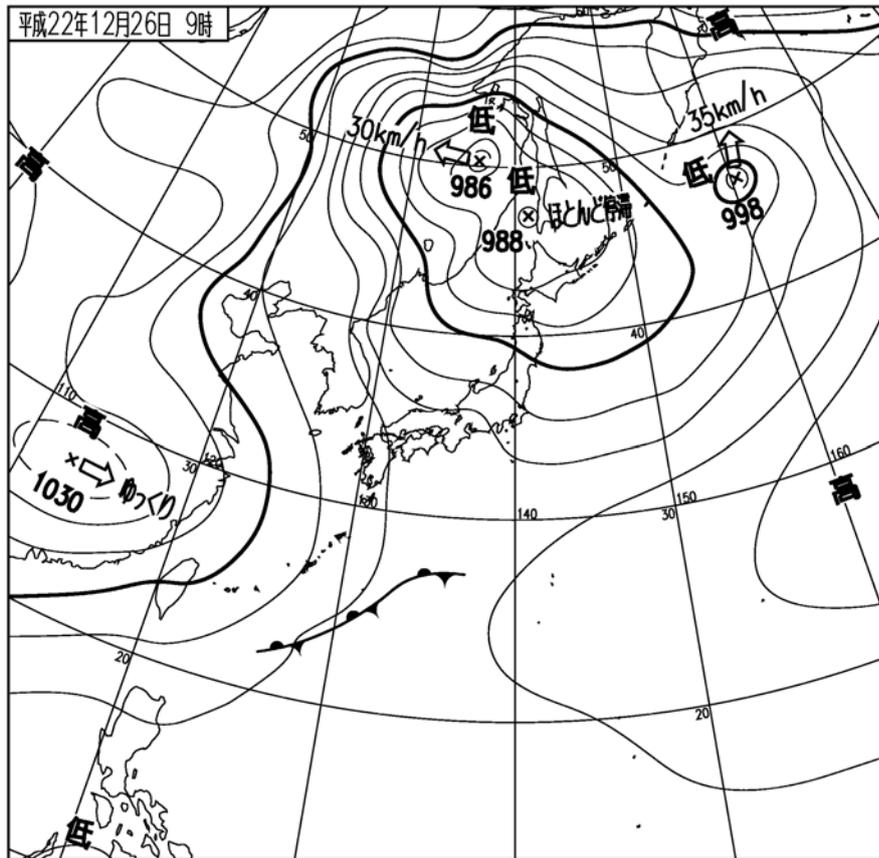
月 日	場 所	気象データ
12月31日	鈴ヶ岳登山口～鋏柄山	鋏柄山山頂 晴 積雪も気持ち程度で、歩き易い。 静かな山頂で眺望が良い。
1月1日	地藏岳	地藏岳頂上 1,673.9m 晴 御来光に出会える。 富士山、筑波山、スカイツリーも眺めることができた。

北海道 小樽後志

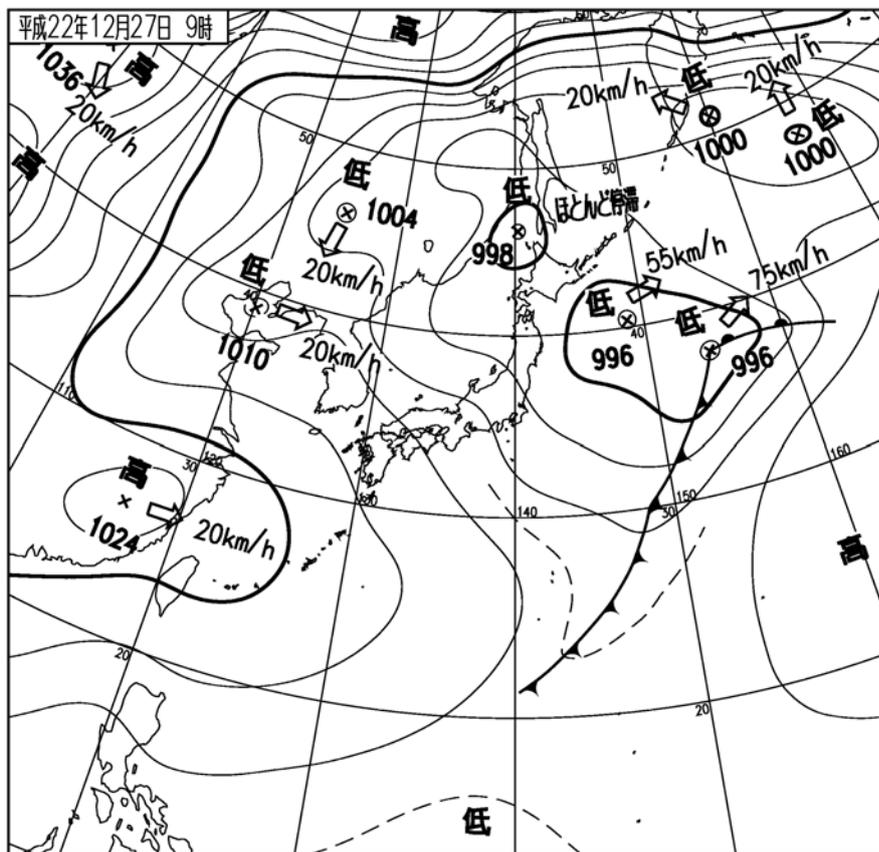
(東京都山岳連盟所属 個人会員)

月 日	場 所	気象データ
1月2日	小樽苗穂公園	小樽苗穂公園 55m 9:40 曇り 2℃ 微風 1日の天気変化 時々晴一時雪
1月3日	キロロスキー場 Gondola 山頂駅前	Gondola 山頂駅前 1180m 10:15 雪 -10℃ 北西又は西弱風
1月4日	ニコセピラフスキー場キング第4 リフト山頂駅前	リフト山頂駅前 1170m 12:00 曇り -7℃ 北東微風 視界不良

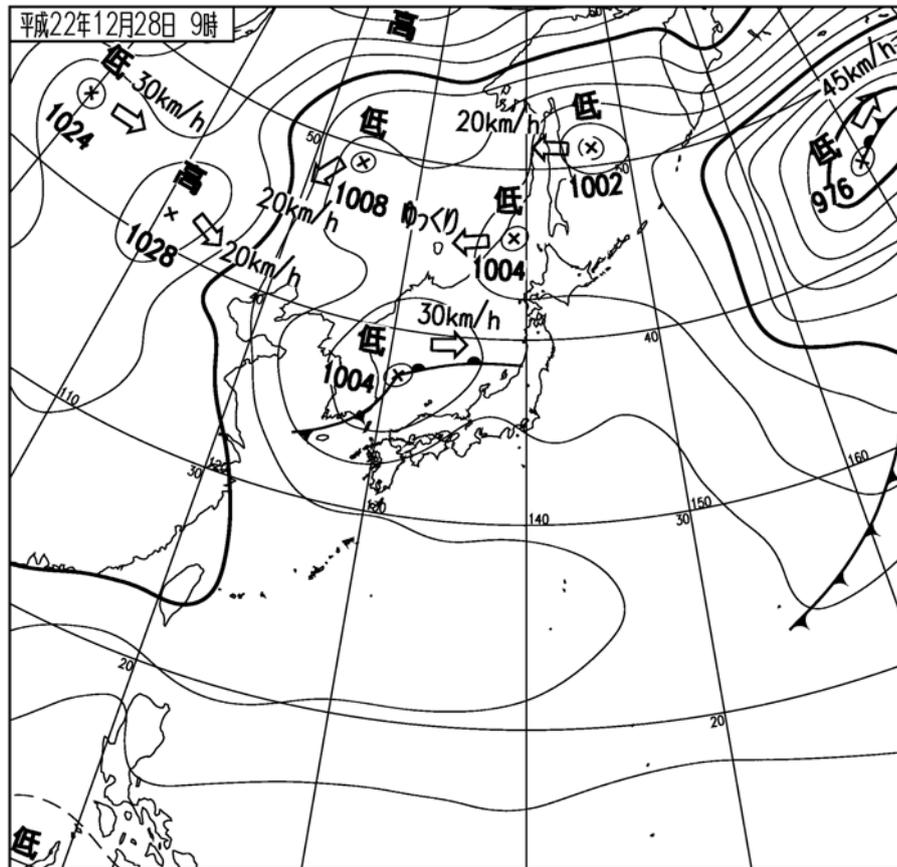
2010 年末～2011 年始の地上天気図（気象庁提供）



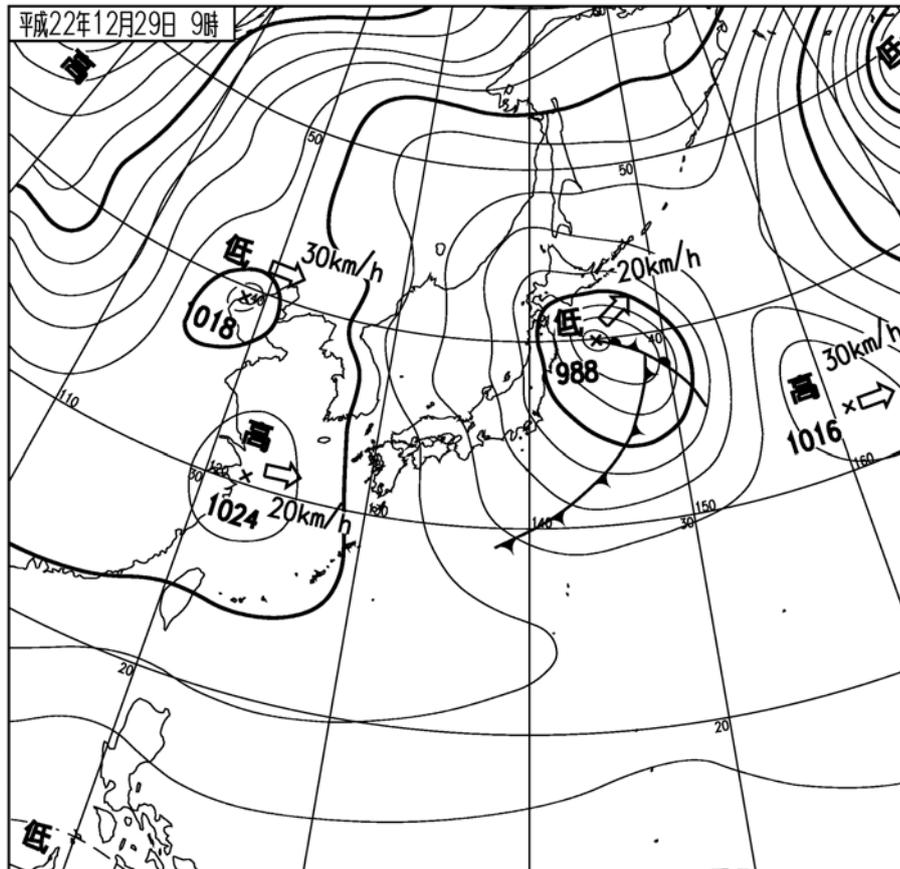
12月26日9時



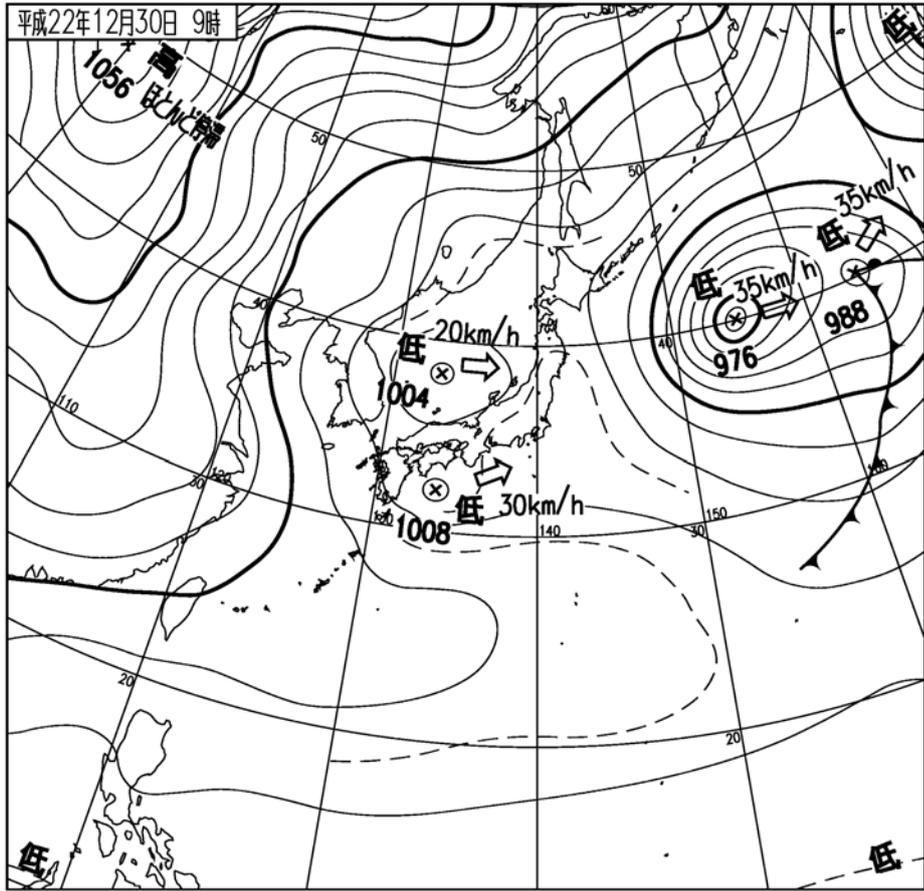
12月27日9時



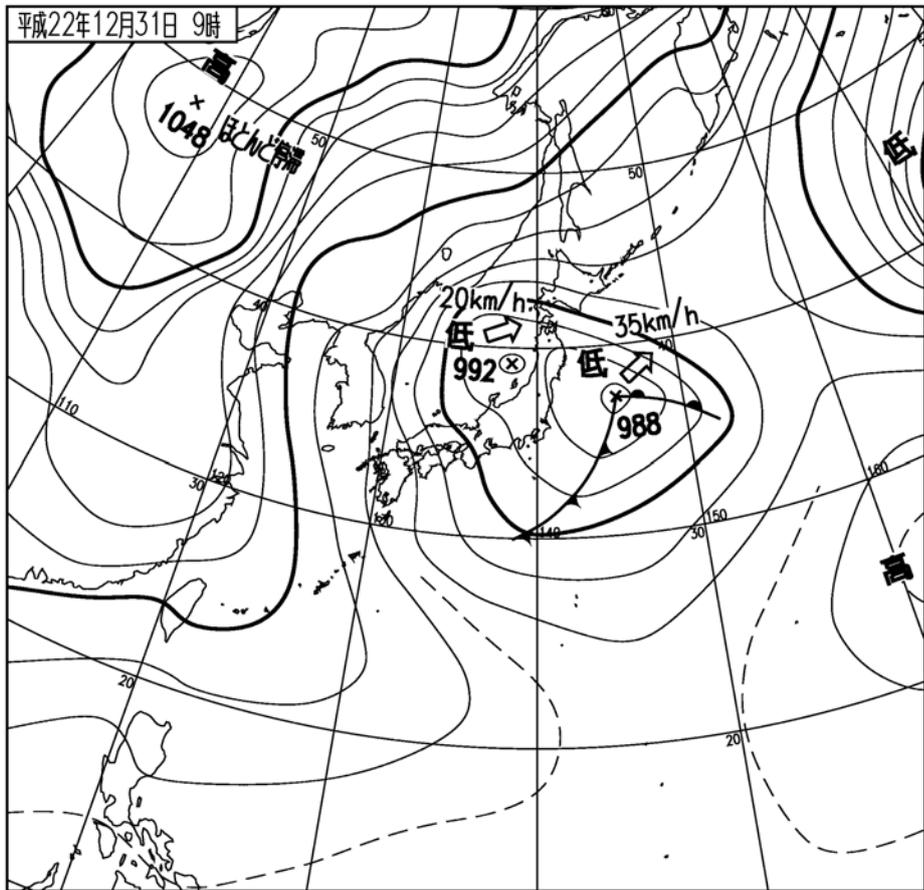
2月28日9時



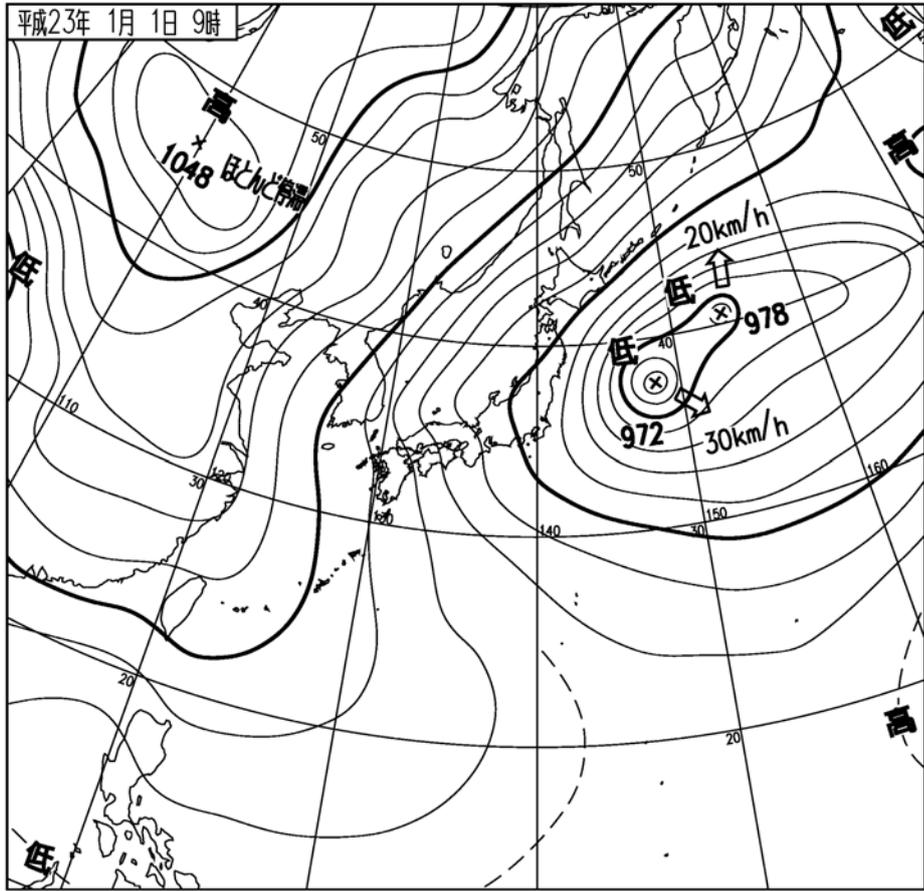
12月29日9時



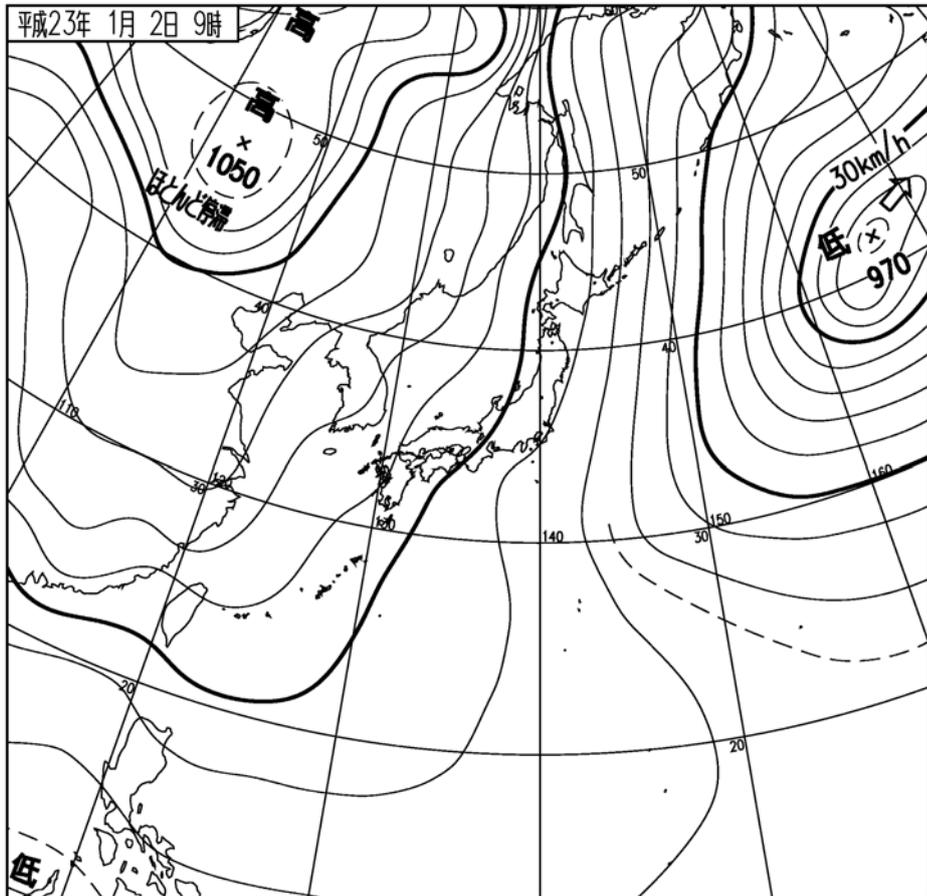
12月30日9時



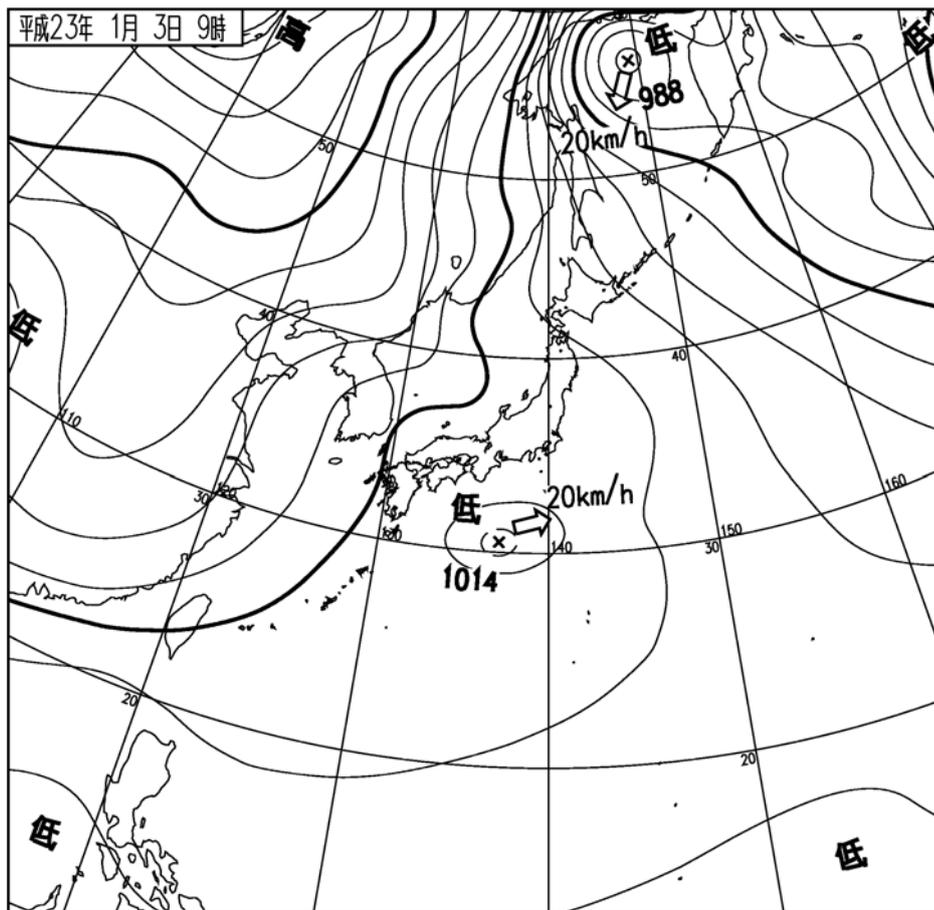
12月31日9時



1月1日9時

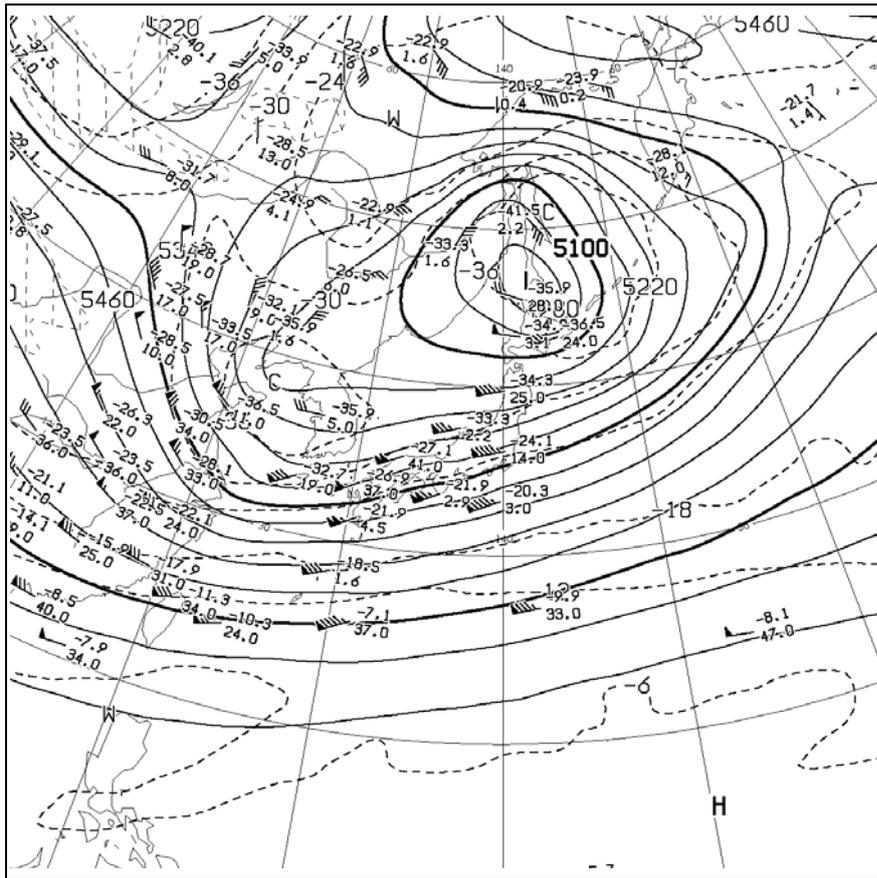


1月2日9時

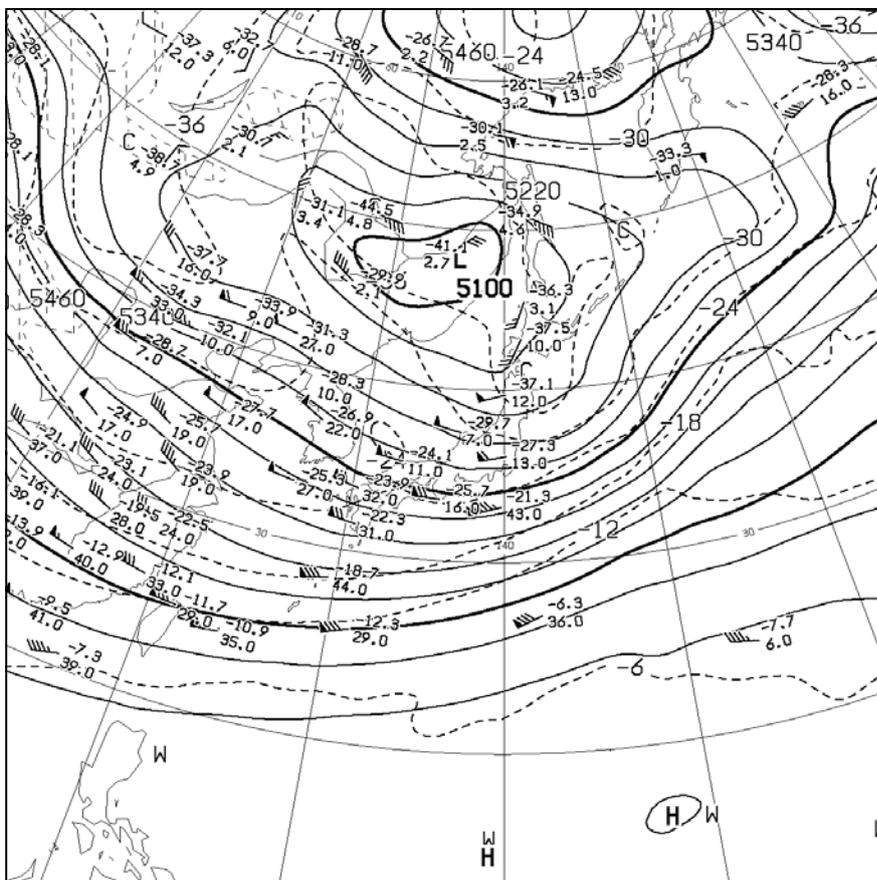


1月3日9時

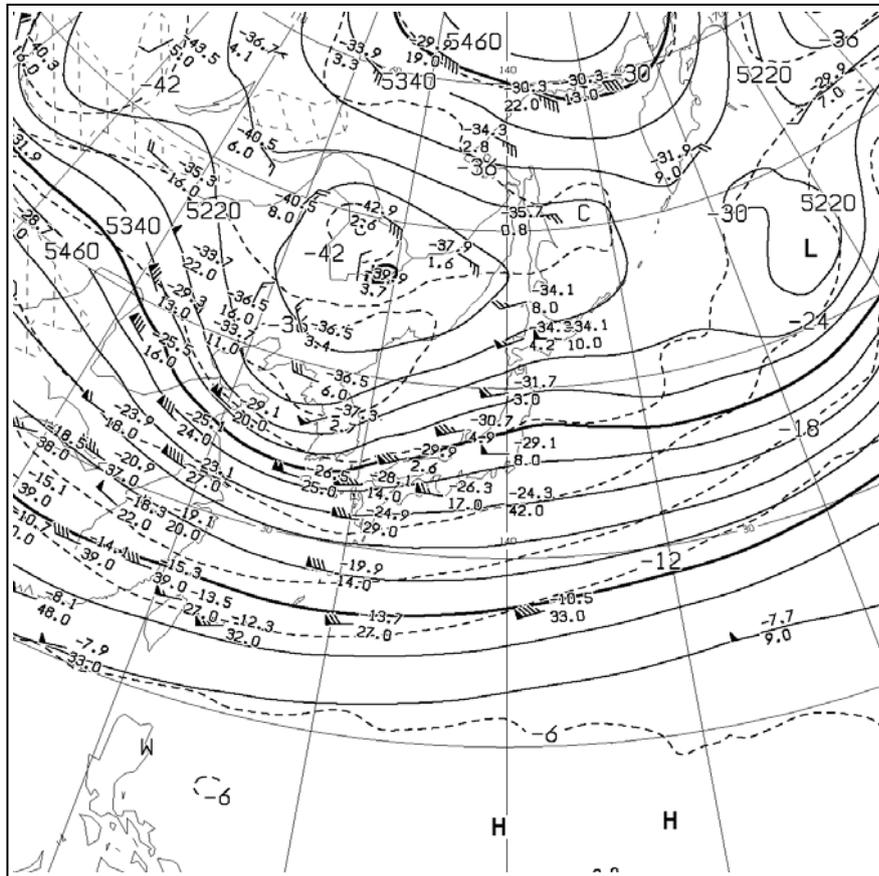
2010 年末～2011 年始の 500hPa 高層天気図 (気象庁提供)



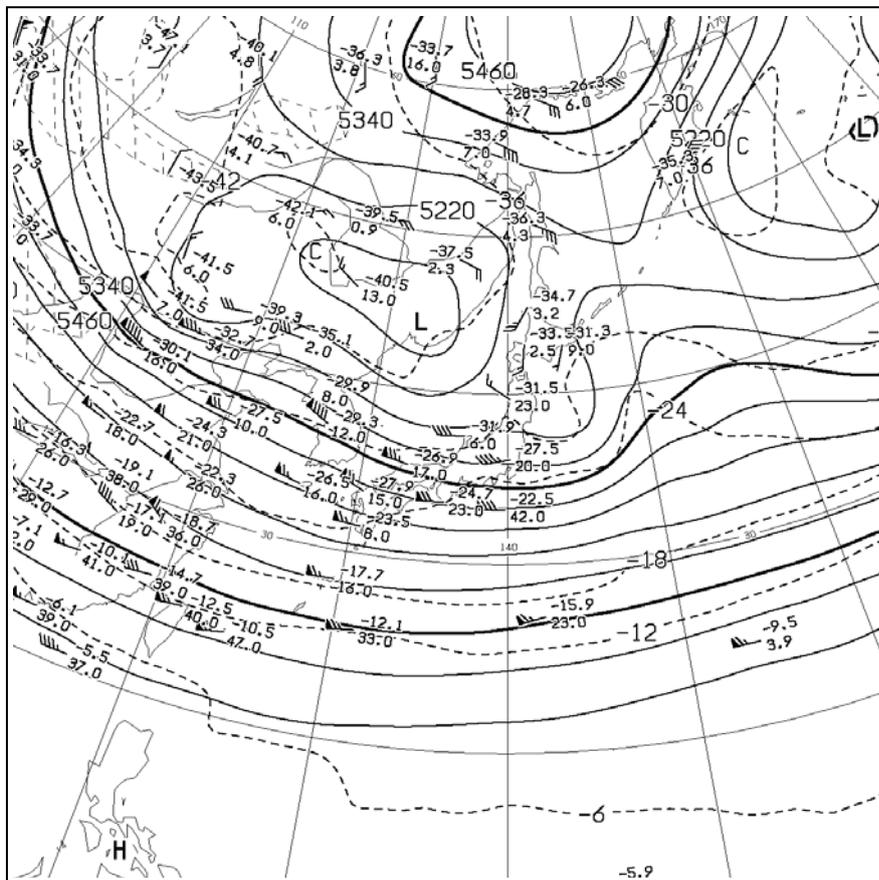
12月26日9時



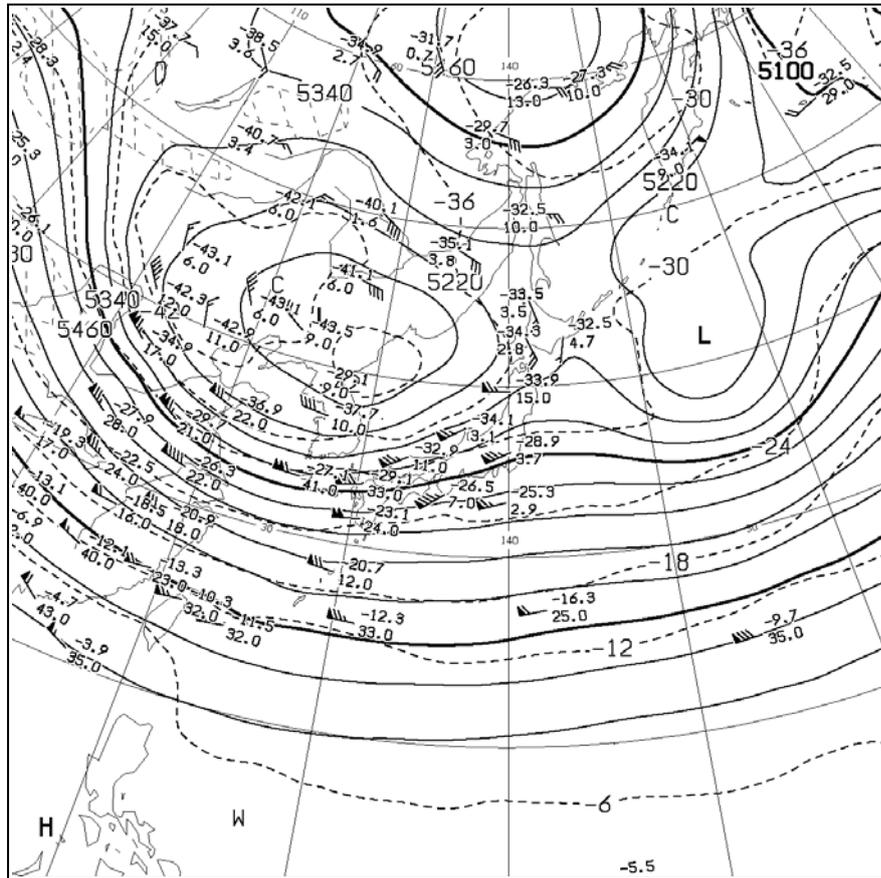
12月27日9時



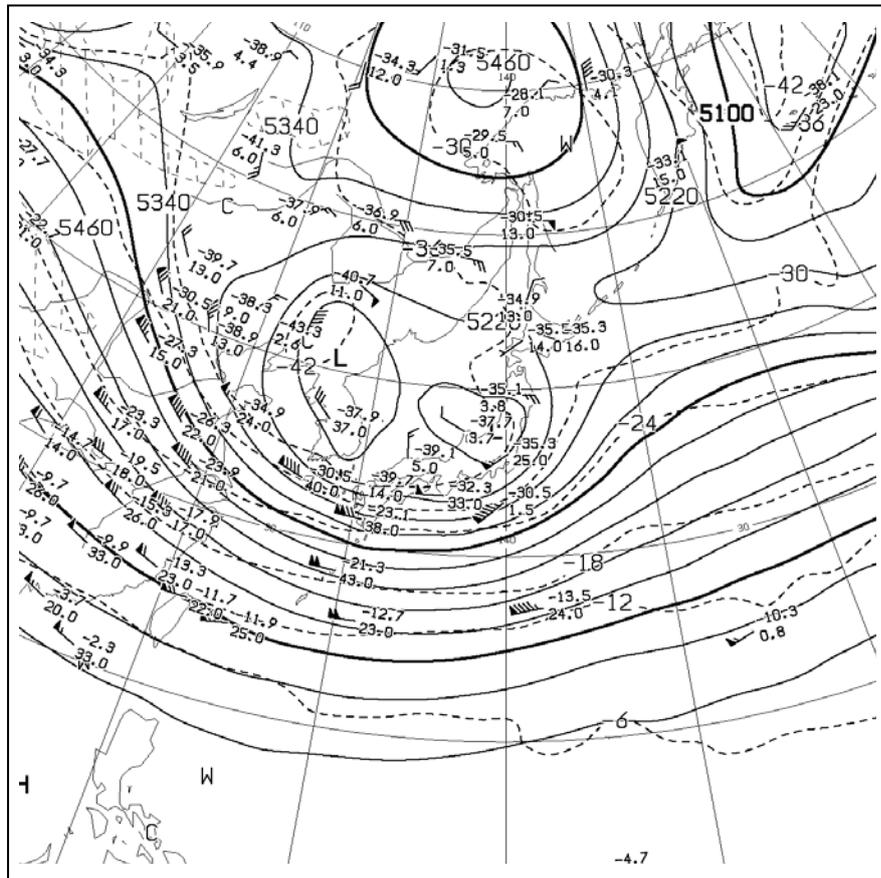
12月28日9時



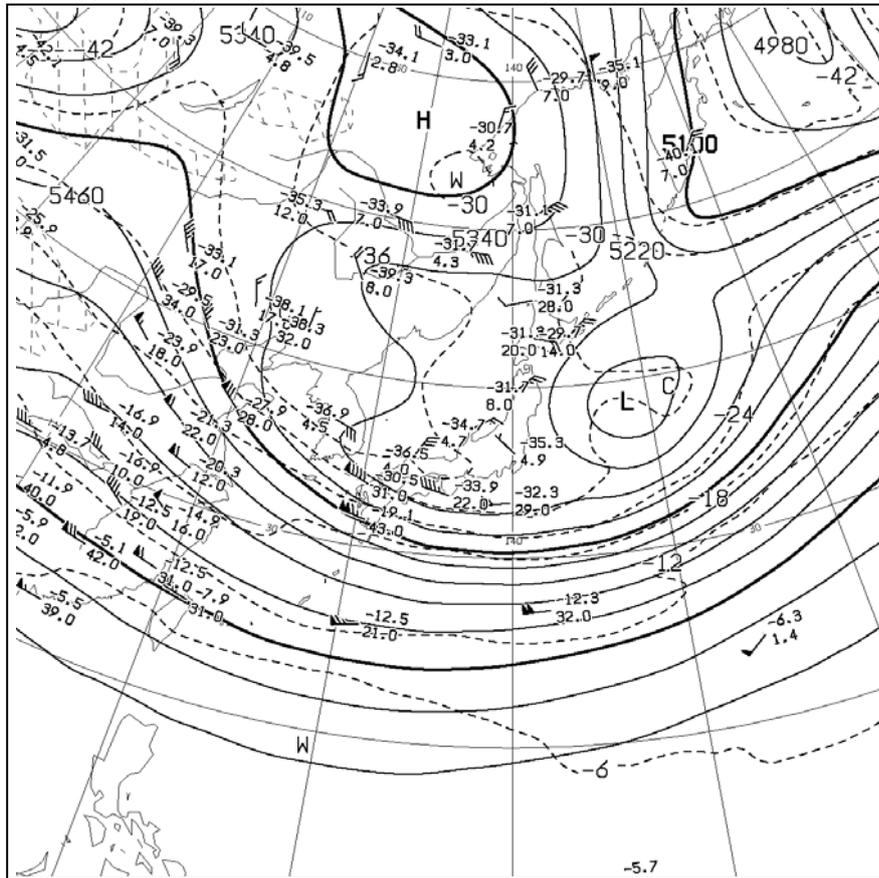
12月29日9時



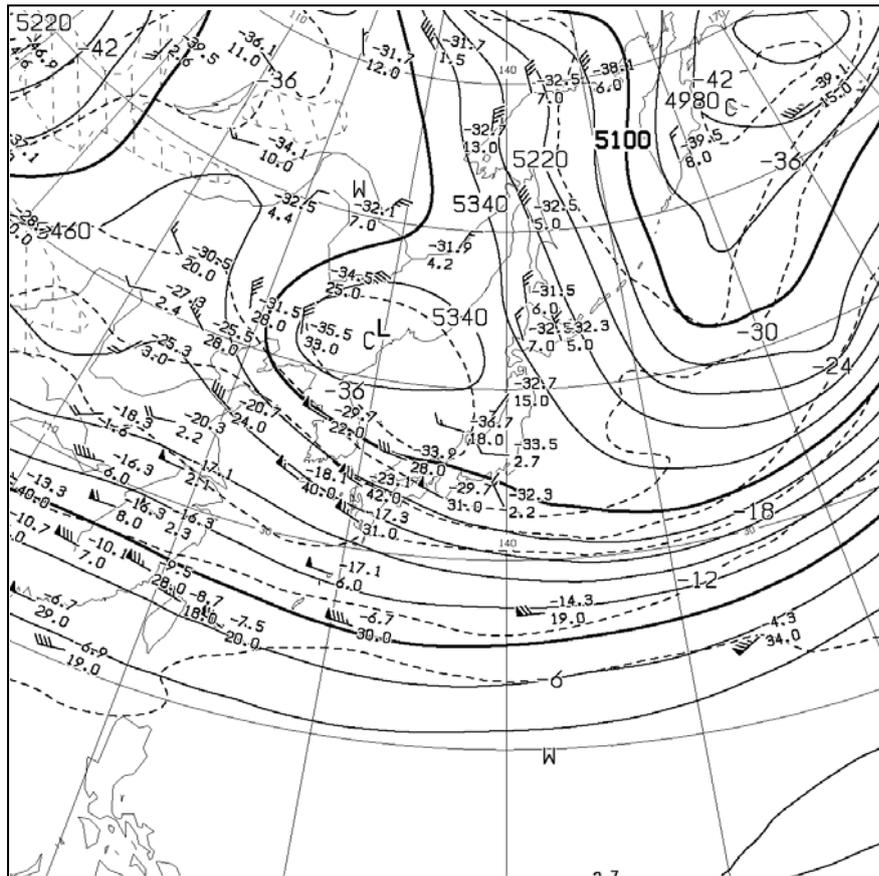
12月30日9時



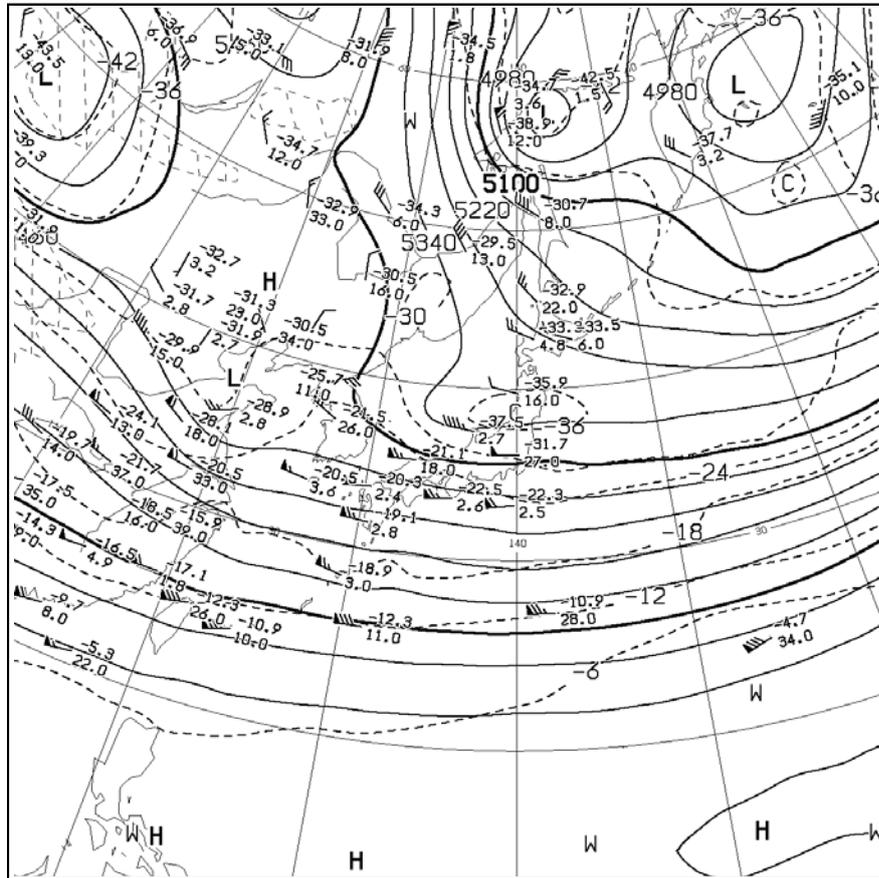
12月31日9時



1月1日9時



1月2日9時



1月3日9時

富士山の気象データ (気象庁提供)

